

令和3年度の取組について

令和4年6月2日

国土交通省の取り組み



1) 洪水氾濫を未然に防ぐ対策等

芦田川水系河川整備計画【令和3年度施工状況 全体】

気候変動の影響による近年頻発化・激甚化する降雨状況を鑑み、芦田川水系における今後の治水対策の方向性を示す芦田川水系河川整備計画を変更し、治水目標を達成するための整備・対策を進めます。

主な整備予定箇所と実施内容

- ダム下流の浸水被害防止のため、より効果的なダム操作や有効活用方策などを検討します。



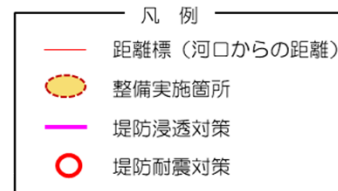
八田原ダム

- 河道掘削を行い、五ヶ村用水堰を改築し、整備目標流量を安全に流下させます。
- 堤防の整備により、洪水氾濫の防止に努めます。



芦⑤ 土生・目崎・父石地区

事業実施 護岸整備等



芦④ 中須地区



芦③ 新市・芦田地区



芦② 御幸・郷分・駅家地区



芦① 草戸・水呑地区

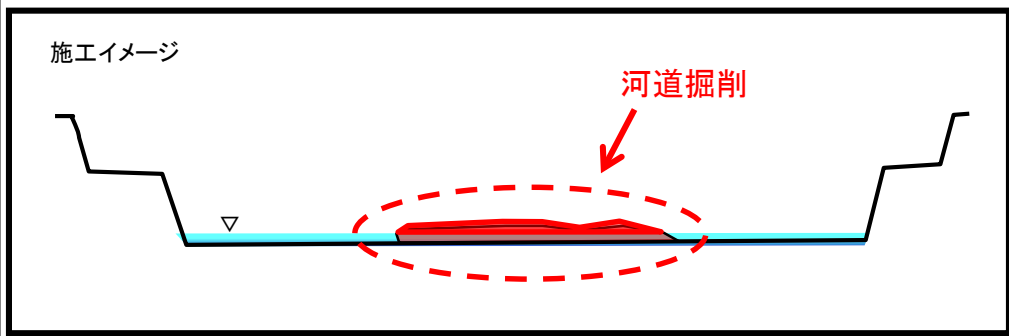
着手

事業実施
堤防浸透対策

河道掘削

1) 洪水氾濫を未然に防ぐ対策等

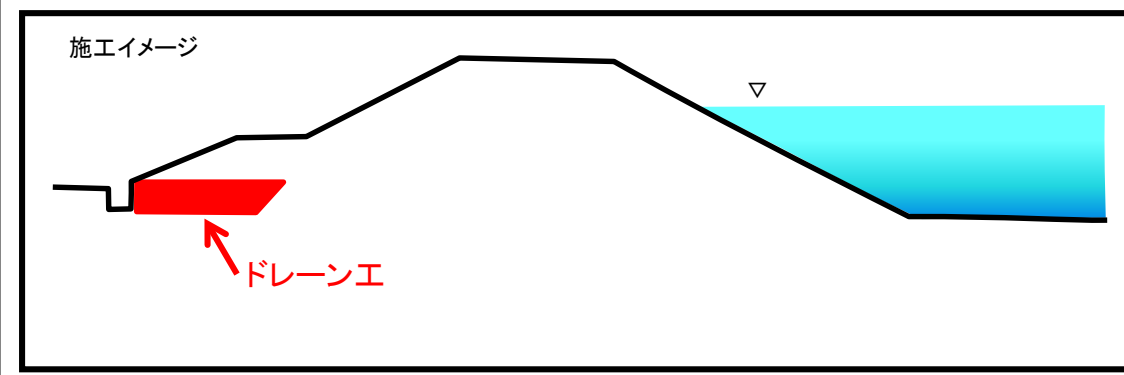
河道掘削工事の実施【令和3年度】



令和3年12月時点(法音寺橋付近 施工状況)

1) 洪水氾濫を未然に防ぐ対策等

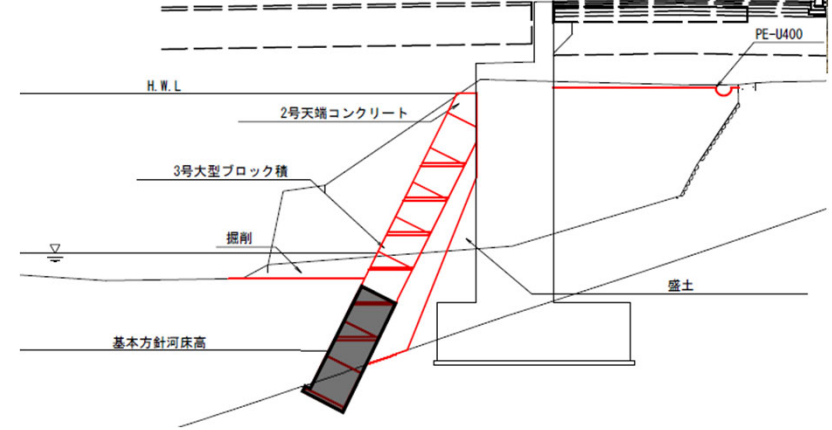
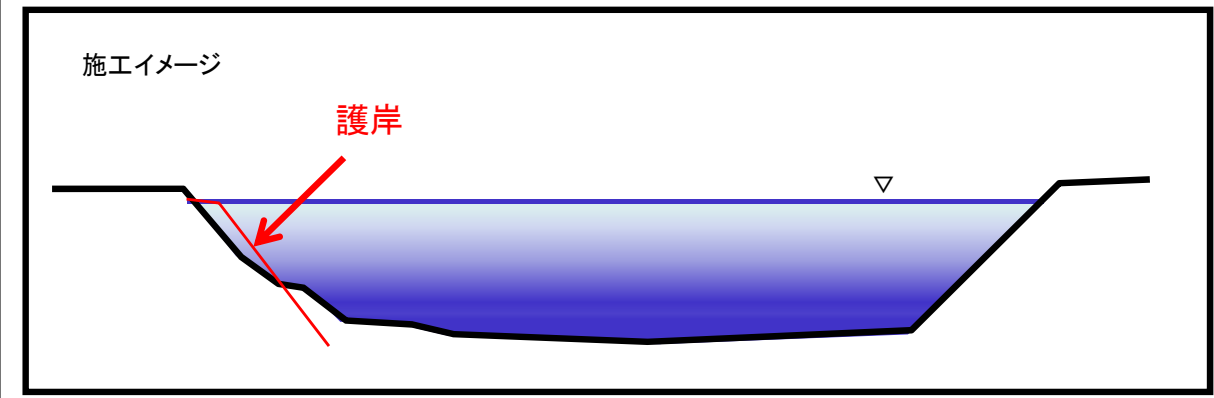
浸透対策工事の実施【令和3年度】



令和3年12月時点(草戸地先 施工状況)

1) 洪水氾濫を未然に防ぐ対策等

護岸整備工事の実施【令和3年度】



1) 洪水氾濫を未然に防ぐ対策等

防災操作の実施【令和3年度】

八田原ダムにおける防災操作による治水効果(令和3年8月12日～15日 前線)

速報

八田原ダム流域では、令和3年8月12日の未明から雨が降り始め、13日の夕方から夜の始めごろにかけて前線の影響により強い雨が降り、降り始めから15日までの流域平均総雨量は381mmを記録しました。

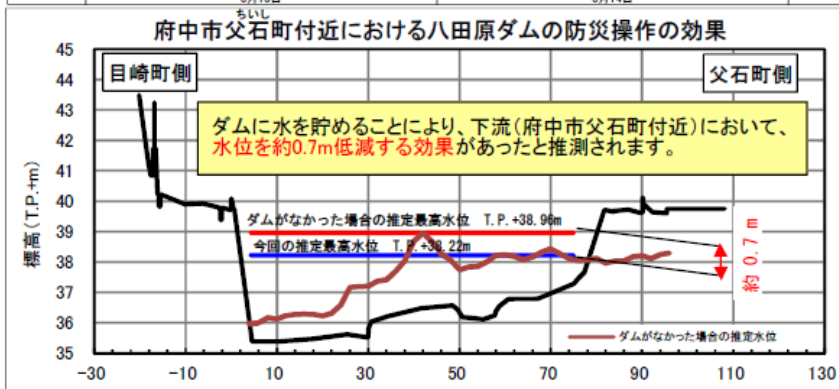
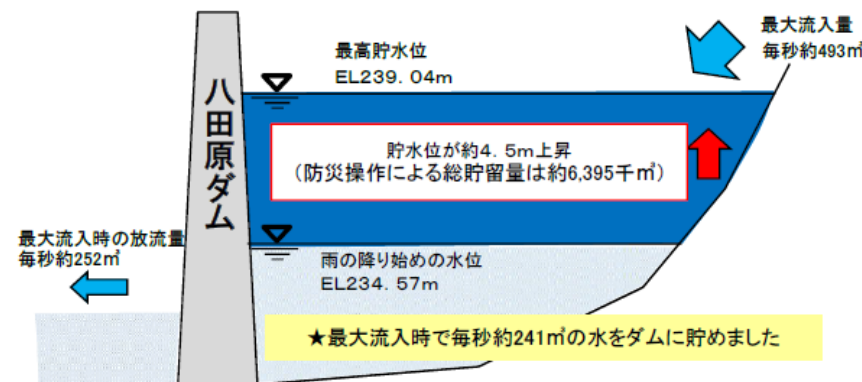
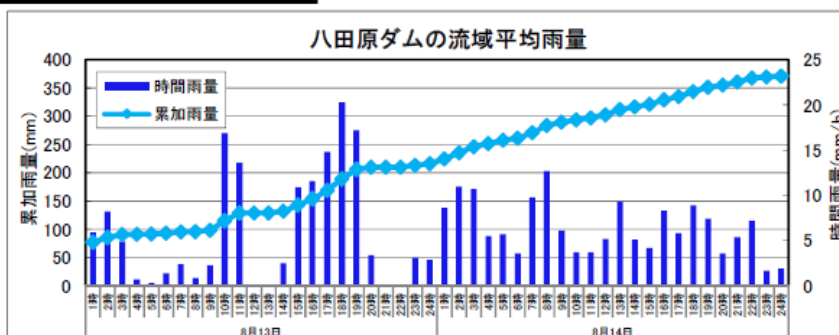
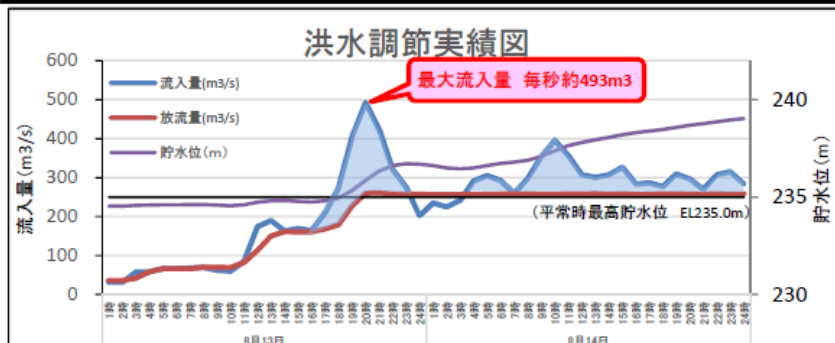
八田原ダムでは、ダムへ入ってきた水の量が最大で毎秒約493m³に達しました。

これを受けて、八田原ダムにおいては防災操作※2をおこない、このうち、最大流入時で毎秒約241m³の水をダムに貯め込みました。

この結果、府中市父石町付近で水位を約0.7m低減する効果があったと推測されます。

※『防災操作』とは、大雨などによりダムに流入する洪水の一部を貯水池に貯め込み、放流量を流入量より小さくしてダム下流の河川に流す操作です。

八田原ダム位置図



※各数値は速報値であり、今後、変わる可能性があります。

2)①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防訓練の実施

災害対策用機械等の操作訓練の実施【令和3年度】

日 時 ・ 内 容 :
令和3年6月9日 災害対策用機械(排水ポンプ車、通信機器等)の操作訓練
排水機場の操作訓練はコロナ感染対策の観点から未実施

対 象 : 職員を含め、災害応急対策協定業者など

機器操作訓練(全体説明)の状況



排水ポンプ車の操作訓練



照明車の操作訓練



通信機器(Ku-SAT)の操作訓練



2)①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

学校の防災教育に対する支援【令和3年度】

日 時 : 令和3年10月26日

参加者 : 65人(福山市立光小学校 5年生)

内 容 : 「洪水からいのちを守るために」というテーマで、洪水の怖さや氾濫の形態、洪水に対する取組について紹介。
マイ・タイムラインの説明と教材の配布を実施。



出前講座を活用した講習会の開催【令和3年度】

日 時 : 令和3年10月22日

参加者 : 約30人(霞地区自主防災組織)

内 容 : 「水害への心構えと河川整備について」と題して、過去の河川災害や洪水を踏まえ、情報収集の方法や具体的な防災活動への取組など、河川と水防活動について解説。
なお、今回独自の取り組みとして、Web会議システムによる配信を用いた遠隔での講座を行った。



2)①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■タイムライン(防災行動計画)に基づく実践的な訓練

多機関連携タイムラインワーキングの実施【令和3年度】

日時：令和3年12月15日
内容：タイムラインの活用状況や各機関の防災対応に関する意見交換を実施し、令和4年度の運用に向けた改善を実施。

参加機関：
広島県、福山市、府中市、広島県警、広島地方気象台、中国電力ネットワーク、福山ガス、中国バス、八田原ダム管理所、福山河川国道事務所

【参考】降雨を踏まえた対応における予報・災害危険度等の参考情報

情報種別	情報の種類	情報の提供	確認可能な予報の範囲	予報の範囲
降水予報	今後の雨（降水時間予報）【気象庁】	6時間先	現在時刻から30分間隔で確認可能	3km四方
	降水ナウキャスト【気象庁】	1時間先	現在時刻から5分間隔で確認可能	3km四方
	高精度降水ナウキャスト【気象庁】	30分先	現在時刻から5分間隔で確認可能	250m四方
リアルタイム雨量情報	RAIN【国土交通省】	-	-	250m四方
降水に備える情報	土砂警戒レベル（大雨警戒（土砂災害）の危険度区分）【気象庁】	2時間先までの予報値（土砂災害危険度）を用いて、避難計画における土砂災害発生時の危険度を1km四方のメッシュごとに表示（10分間隔に更新）	2時間先までの予報値（土砂災害危険度）を用いて、避難計画における土砂災害発生時の危険度を1km四方のメッシュごとに表示（10分間隔に更新）	1km四方
	洪水警戒レベル（大雨警戒（洪水）の危険度区分）【気象庁】	4時間先までの予報値（洪水危険度）を用いて、避難計画における洪水発生時の危険度を1km四方のメッシュごとに表示（10分間隔に更新）	4時間先までの予報値（洪水危険度）を用いて、避難計画における洪水発生時の危険度を1km四方のメッシュごとに表示（10分間隔に更新）	1km四方
	洪水警戒レベル（大雨警戒（洪水）の危険度区分）【気象庁】	3時間先までの予報値（洪水危険度）を用いて、避難計画における洪水発生時の危険度を1km四方のメッシュごとに表示（10分間隔に更新）	3時間先までの予報値（洪水危険度）を用いて、避難計画における洪水発生時の危険度を1km四方のメッシュごとに表示（10分間隔に更新）	1km四方
洪水に備える情報	洪水警戒レベル（大雨警戒（洪水）の危険度区分）【気象庁】	4時間先までの予報値（洪水危険度）を用いて、避難計画における洪水発生時の危険度を1km四方のメッシュごとに表示（10分間隔に更新）	4時間先までの予報値（洪水危険度）を用いて、避難計画における洪水発生時の危険度を1km四方のメッシュごとに表示（10分間隔に更新）	1km四方
	洪水警戒レベル（大雨警戒（洪水）の危険度区分）【気象庁】	3時間先までの予報値（洪水危険度）を用いて、避難計画における洪水発生時の危険度を1km四方のメッシュごとに表示（10分間隔に更新）	3時間先までの予報値（洪水危険度）を用いて、避難計画における洪水発生時の危険度を1km四方のメッシュごとに表示（10分間隔に更新）	1km四方
	洪水警戒レベル（大雨警戒（洪水）の危険度区分）【気象庁】	2時間先までの予報値（洪水危険度）を用いて、避難計画における洪水発生時の危険度を1km四方のメッシュごとに表示（10分間隔に更新）	2時間先までの予報値（洪水危険度）を用いて、避難計画における洪水発生時の危険度を1km四方のメッシュごとに表示（10分間隔に更新）	1km四方
水害リスクマップ【国土交通省】	水害リスクマップ（水害リスクマップ）	水害リスクマップ（水害リスクマップ）	水害リスクマップ（水害リスクマップ）	水害リスクマップ（水害リスクマップ）
	水害リスクマップ（水害リスクマップ）	水害リスクマップ（水害リスクマップ）	水害リスクマップ（水害リスクマップ）	水害リスクマップ（水害リスクマップ）
	水害リスクマップ（水害リスクマップ）	水害リスクマップ（水害リスクマップ）	水害リスクマップ（水害リスクマップ）	水害リスクマップ（水害リスクマップ）
水位情報	川の水位情報【国土交通省】	川の水位情報（川の水位情報）	川の水位情報（川の水位情報）	川の水位情報（川の水位情報）
	川の水位情報【国土交通省】	川の水位情報（川の水位情報）	川の水位情報（川の水位情報）	川の水位情報（川の水位情報）
	川の水位情報【国土交通省】	川の水位情報（川の水位情報）	川の水位情報（川の水位情報）	川の水位情報（川の水位情報）



WEB会議システムを用いたワーキングの開催

◇ 令和4年度運用に向けた改善案について

- 3 年間の水害タイムラインの運用実績を踏まえ、令和4年の運用に向けた改善案を事務局から説明
- 事前アンケート、意見交換（5.にて実施）において、想定される支障等が確認されなかったことから、次年度以降、改善案による水害タイムラインの運用を予定

＜改善案の概要（下図参照）＞

- 予想される降雨の要因（「**台風接近時**」又は「**前線降雨が予想される場合**」の2区分）に応じ、タイムライン発動のタイミング（**立ち上げを周知するタイミング**）を変更
- 前線性の降雨が予想される場合は、気象庁の「**早期注意情報（高）**」が発表されたタイミングで、タイムラインの「**レベル1**」を発動し、関係機関に対し周知

※降雨の状況によっては、従前どおりレベル0から発動する場合もあることに留意
※改善案は、各レベルへの移行基準を変更するものではなく、流域全体としてタイムラインを運用する際の、事務局からの周知のタイミングを変更するものである

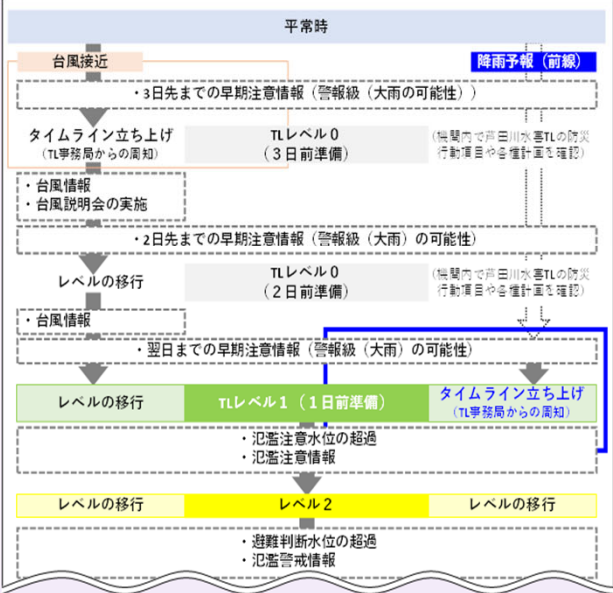


図 令和4年のタイムライン運用に向けた改善案（抜粋）

◇ 振り返り（意見交換）

- 事前アンケートに関する各機関からの回答結果を共有し、水害タイムラインの活用状況や各機関の防災対応に関する意見交換（情報提供）を実施

概要	他機関への提供情報
○防災気象情報（警戒レベル相当情報）とガス事業者の防災対応について	【福山ガス株】 ・災害時の迅速な対応・復旧、ガス工作物の被害・二次被害防止のため、事業者間で応援受入を実施 ・台風など、豪雨の際は、以下の状況に応じて災害対策本部を設置し、経済産業省・日本ガス協会に状況を報告 - 警戒レベル4相当（土砂災害計画情報等）発表後、4時間以上継続している場合 - 市町等による避難情報発令時 ・情報収集時は行政のホームページやEメールのほか、芦田川防災ポータルサイト等を活用
○災害対策基本法改正に伴う避難情報の変更に関して苦慮した点について	【府中市危機管理課】 ・令和元年から運用されている「警戒レベル」がようやく浸透してきた中での変更であったため、混乱が生じないよう苦慮 ・周知のため、市の広報誌への掲載や周知用のチラシを作成し、全戸配布を実施 ・今後もマイ・タイムライン講習会等の場を活用し、引き続き周知に努める
○タイムライン事務局からのメール・ポータルサイト等の活用について	【中国電力ネットワーク株】 ・停電時の復旧対応を検討する際、河川や道路状況の把握に活用 ・供給区間である難波の場合は、事前に人員や資機材を配備しておく必要があるため、配備の参考情報としても活用 【エフエムふくやま】 ・聴取者からの提供情報に対する迅速な確認・精査に活用 ・正確・迅速な関係機関への確認（裏付け）が可能となった
○線状降水帯に関する情報提供について	【広島地方気象台】 ・本年（令和3年）6月より、「現在の降雨」を伝えるためのキーワードとして、「線状降水帯」に関する情報提供を実施 ・次年度（令和4年）以降の取組として、予測情報の提供を予定 ・提供開始時は地方単位の予測（例：中国地方の予測）となることと想定され、順次精度の向上を予定（例：広島県南部の予測等）
○WEB会議システムを活用した情報共有について	【広島県危機管理課】 ・本年7月・8月の対応にて、気象台・県内各市町との情報共有のため、WEB会議システムを活用 ・気象台・全市町と24時間体制で接続し、常時連絡可能な体制を構築 ・接続は、警戒レベル3相当情報が発表されたタイミングで実施 ・土砂災害の危険度・河川水位・今後の気象予測等を共有したほか、避難情報の発令に関する助言等を実施 【福山市】 ・WEB会議システムを活用した情報共有の有用性を確認の上、水害タイムラインの関係機関間においても活用可能な手法として提議（ダムの放流や予測水位の情報共有にて活用等）

◇ 今後の予定

- 本ワーキングにて提示した「改善案」による次年度の水害タイムラインの運用
- WEB会議を活用した情報共有実施に向けた調整・協議
- 出水期前の水害タイムライン説明会の実施

福山市の取り組み

2)①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ハザードマップの改定・周知等

ハザードマップの改定・周知【令和3年度】

様々な媒体を活用した 洪水ハザードマップの住民への周知

最新 トップページ > 担当部署 > 危機管理防災課 > 福山市洪水ハザードマップを更新しました

福山市洪水ハザードマップを更新しました

[Tweet](#) [印刷用ページを表示する](#) 掲載日：2021年3月11日更新

福山市洪水ハザードマップの更新について

2015年の水防法改正に伴い、浸水想定の前提となる降雨量が、従来の河川整備の基準である「計画規模降雨」から、「想定最大規模降雨」に見直されたことから、河川管理者である国・県では、新たな洪水浸水想定区域図を作成しています。

これに伴い、本市では、国・県の新たな洪水浸水想定区域図を基に、2009年に作成した福山市洪水ハザードマップを更新しました。

ハザードマップにより自宅付近の危険な状況を把握し、必要な避難行動や避難場所、避難経路、非常持ち出し品などを確認しておきましょう。

2021年（令和3年）2月改訂 福山市

※ 想定最大規模降雨・・・想定しうる最大規模の降雨で発生確率は、1,000年以上に1度

芦田川の場合 24時間総雨量：572mm

北部版

[【北部版】地図面【PDFファイル】](#)

[【北部版】解説面【PDFファイル】](#)

[【北部版】分割版大図（4.1分割）](#)

南部版

[【南部版】地図面【PDFファイル】](#)

[【南部版】解説面【PDFファイル】](#)

[【南部版】分割版大図（3.7分割）](#)

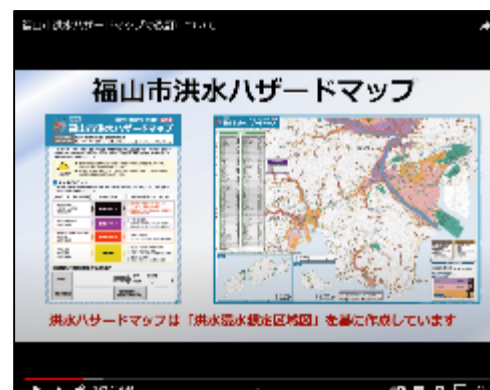
動画はこちらから

[福山市洪水ハザードマップの更新について（福山市公式YouTube）](#)

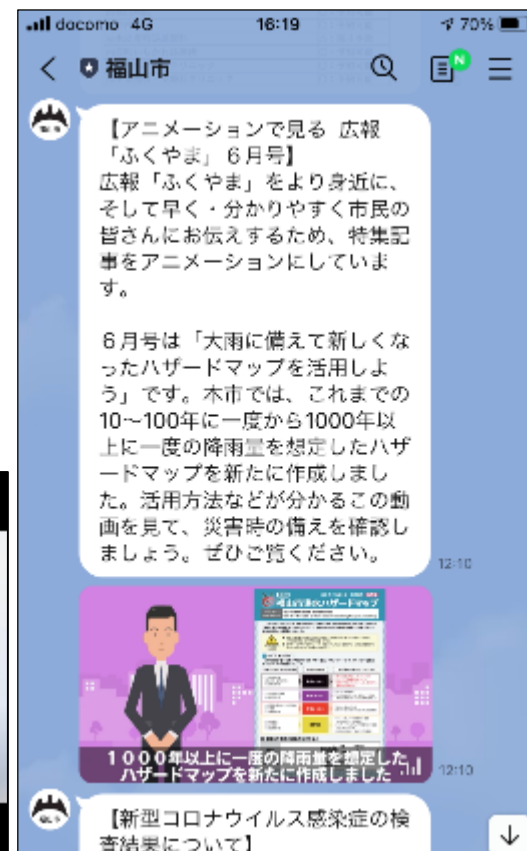
①広報テレビによるハザードマップ解説



③ホームページ動画によるハザードマップ解説



②SNSへハザードマップ解説動画 (Twitter, LINE, Facebook)



■実践的な訓練

実践的な訓練【令和3年度】

災害対応訓練

日 時:5月27日(木)

対 象:市職員300人

内 容:本部運営訓練(ブラインド型)

- ・気象情報等の収集, 避難情報の発令, 避難場所の開設
- ・Webを活用した県との情報共有
- ・新型コロナウイルス対策を考慮した本部運営



【災害対策本部の活動状況①】



【災害対策本部の活動状況②】



【Webを活用した県との情報共有】

■防災教育や防災知識の普及

学校の防災教育に関する支援【令和3年度】

ライフライン防災教室

2017年度より、市内の小学生を対象に、災害時に役立つ知識を習得し、防災意識を高めてもらうため、市内のライフラインを担う4事業者(福山市上下水道局, 福山ガス(株), 西日本電信電話(株), 中国電力ネットワーク(株))が合同で実施しています。

【2021年度実施】

春日小学校 (5年生:73名) 11月 5日(金)

深津小学校 (4年生:78名) 11月16日(火)

＜これまでの実施校＞

2017年度 多治米小学校

2018年度 曙小学校

2019年度 山手小学校, 瀬戸小学校

2020年度 光小学校, 宜山小学校



2)②氾濫特性に応じた効果的な水防活動

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築【令和3年度】

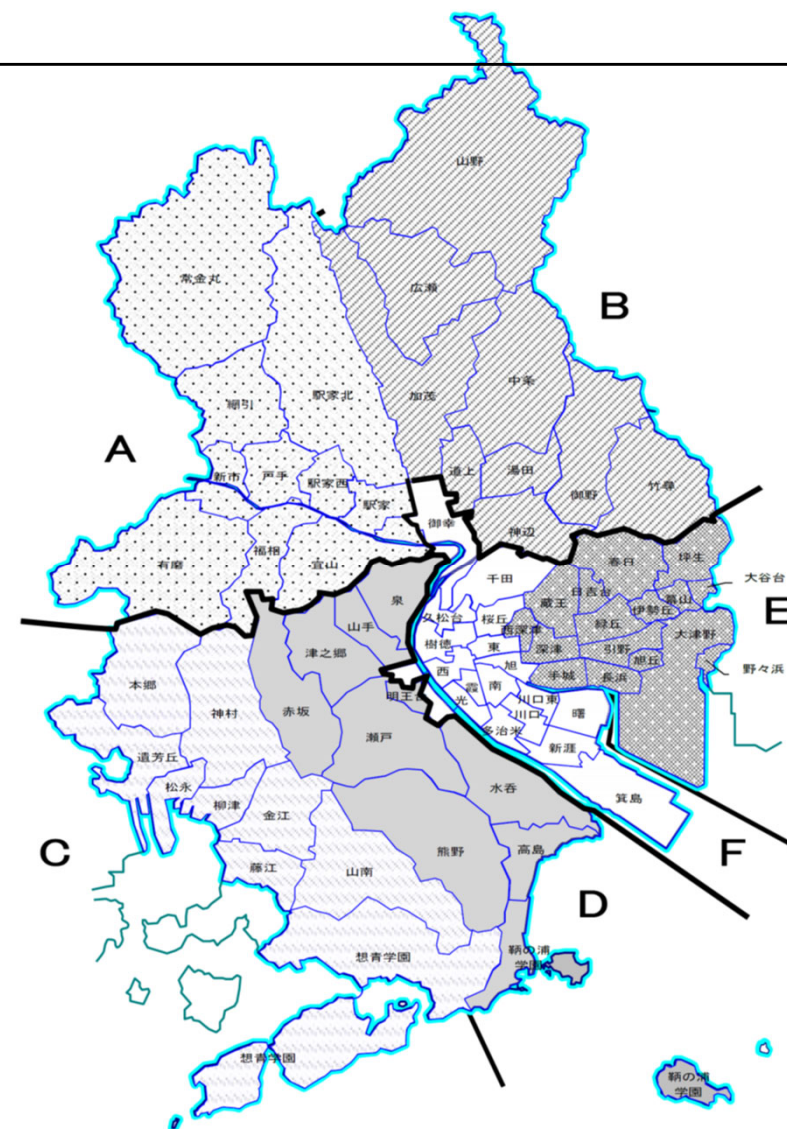
「福山市建設工事等競争入札参加資格者（建設工事）」を対象として、**災害応急対策に係る協力事業者**を定期的に公募し、登録を行った。 ※制度創設…2011年度（平成23年度）

●登録事業者の責務

- ・ 市からの依頼を受け、速やかに災害応急対策工事を実施
- ・ 災害が発生した場合（発生のおそれがある場合）の**情報収集・通報**
- ・ 自主防災組織等と連携し、**地域の防災体制の確立**に協力

●登録事業者数（2022年（令和4年）4月1日現在）

地域区分	小学校区等名	登録事業者数
A地域	駅家、駅家北、駅家西、宜山、有磨、福相、常金丸、網引、新市、戸手	26
B地域	加茂、広瀬、山野、神辺、竹尋、御野、湯田、中条、道上	24
C地域	神村、本郷、遺芳丘、松永、柳津、金江、藤江、山南、想青学園	31
D地域	泉、山手、津之郷、赤坂、瀬戸、熊野、水呑、高島、鞆の浦学園、明王台	27
E地域	手城、深津、引野、蔵王、大津野、坪生、春日、伊勢丘、旭丘、緑丘、長浜、西深津、野々浜、日吉台、幕山、大谷台	35
F地域	東、西、南、霞、川口、樹徳、旭、光、千田、御幸、箕島、曙、新涯、多治米、桜丘、久松台、川口東	68
合 計		211



府中市の取り組み



■広域避難を考慮したハザードマップの改定・周知等

広域避難を考慮したハザードマップの改定・周知【令和3年度】

OHPや市広報誌を活用した周知

HP



広島県 府中市
FUCHU CITY

暮らし
手続き

子育て
教育

福祉
健康

産業・文化
スポーツ

入札
事業者

市政情報

施設から探す イベントを探す 組織から探す よくあるご質問

現在のページ ホーム > 組織から探す > 危機管理監 > 危機管理室 > 安全・安心 > 消防・防災 > 府中市洪水ハザードマップ

府中市洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップとは

洪水浸水想定区域及び想定される水深等を表示した図面に、洪水予報等の伝達方法、避難場所その他洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため必要な事項などを記載したものです。

家族や地域で災害について話し合う際の資料として活用しましょう。

洪水ハザードマップの作成について

浸水想定区域が定められている「芦田川」や「砂川」「出口川」「御調川」などの河川の情報をもとに「洪水ハザードマップ」を作成しています。

府中市洪水ハザードマップ

1,000年に1度程度起こると想定される最大規模の降雨により洪水が発生した場合の洪水ハザードマップ

府中学園・国府・旭・南・栗生小学校区

府中市洪水ハザードマップ（地図版）（PDFファイル: 5.4MB）

消防・防災

計画

災害義援金

消防・防災に関する制度

家庭の防災対策

市民避難訓練

弾道ミサイルなど武力攻撃事態における対応

府中市土砂災害ハザードマップ

災害時の避難場所

災害時等協力事業者登録制度

災害協定

府中市洪水ハザードマップ

「警戒レベル」を用いた避難情報の発令について

緊急情報

新型コロナウイルス感染症等の感染症を踏まえた避難について

広報ふちゅう6月号

ハザードマップの確認

自宅周辺の危険箇所を確認しましょう。水防法の改正により、国・県が公表した想定される最大規模の降雨を前提とする洪水浸水想定区域図を基に、洪水ハザードマップを令和3年3月に作成しました。

ハザードマップは、市役所危機管理室や各公民館に置いてあります。市のホームページにも掲載しています。

■防災教育や防災知識の普及

水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催【令和3年度実施】

○避難所運営研修会を実施

日時：令和3年6月26日（座学）、7月3日（実動演習）

内容：地域住民を対象に、新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営力の向上を目的として、基礎的知識を学ぶ座学と、備蓄資材の取扱訓練や水害時の避難所の開設、避難者の受付、受入を行う実動演習を実施。



○わくわく子ども教室で出前講座を実施

日時：令和3年10月21日

場所：府中明郷学区



2)①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

学校の防災教育に対する支援【令和3年度実施】

○上下地区総合防災訓練で地元小中学校と連携した訓練を実施。

日時: 令和3年10月10日

場所: 上下中学校

内容: 避難所設営訓練や認知症避難者の通報訓練等を実施



■防災教育や防災知識の普及

マイ・タイムラインの作成支援、普及【令和3年度実施】

各地域でマイ・タイムラインを作成する講習会の実施

- 日時:令和3年7月14日
場所:木野山町
参加者:22人
- 日時:令和3年12月5日
場所:僧殿町
参加者:11人
- 日時:令和3年12月14日
場所:鵜飼町
参加者:22人



■情報の伝達・発信

SNSを活用した洪水時における情報提供【令和3年度実施】

OLINEやフェイスブックを活用して情報を発信
市公式アプリは、災害情報の共有など防災機能も備え、令和3年11月から運用開始。



府中市役所（広島県）

2021年8月13日・🌐

【8/13 警戒レベル3高齢者等避難（芦田川上流）】
緊急情報。警戒レベル3、高齢者等避難発令。
こちらは、府中市災害警戒本部です。芦田川上流が避難判断水位に到達したため、
18時45分、久佐町、河佐町、河面町、篠根町、父石町の洪水浸水想定区域に警戒レベル3、高齢者等避難を発令します。今後、氾濫危険水位を超える可能性も高い状況です。
また、中畑橋上流右岸線の市道が浸水のおそれがあります。
洪水浸水想定区域にお住まいの避難に時間のかかる方は、避難所のほか、友人や知人宅、家の中で一番安全な場所に早めの避難をお願いします。避難する際は、マスクや食料、常備薬なども持参してください。

- 【市が開設する避難場所】
- リ・フレ（広谷町919-3）
 - 国府小学校体育館（高木町617）
 - Kultピア栗生（栗柄町3096-1）
 - 第一中学校体育館（用土町463）
 - 広谷保育所（鶴飼町97-3）
 - 府中天満屋3F駐車場（府川町186-1）
 - 府中学園体育館（元町576-1）
 - 生涯学習センター（府中町27-1）
 - Kultピア明郷（篠根町630-4）
 - 阿字スポーツグラウンド体育館（阿字町955）
 - 上下町民会館（上下町上下861-3）

👍👎🗨️ 29

👍 いいね! 💬 コメント ➦ シェア



府中市公式アプリ

My府中

府中市公式アプリが 始動しました！

～暮らしの情報をあなたのポケットに～

みなさまの暮らしに役立つ情報が簡単に入手できる府中市公式アプリ「My府中」の配信を開始しました。このアプリは、さまざまなジャンルの機能を備えた総合型のアプリで、スマートフォンやタブレットへ無料でダウンロードしてご利用いただけます。※通信料はかかります。

「My府中」役立つ5つの主な機能

1 My府中まっぷ

お気に入りの風景や、道路の危険箇所などを、写真や位置情報を用いてリアルタイムに共有

2 デジタル掲示板

地域の情報を自由に発信・共有

3 ごみ関係機能

住んでいる地域ごとのごみ収集日の個別通知や、ごみ分別簡易検索など

4 プッシュ通知機能

市政情報やイベント情報をプッシュ通知でお知らせ

5 防災機能

災害情報を共有



お得なクーポン券を My府中で配信予定！

令和3年12月～令和4年2月

※市内飲食店にて500円の支払いごとに1枚（1000円分）使えるクーポン券を毎月10枚配信します。

※クーポン券の取得・利用には、下記3つのアカウント作成が必要です。
※詳細は、広報ふちゅう 12月号に掲載します。



「My府中」ダウンロード方法

① QRコード読込



AppStore (ios)



GooglePlayStore (Android)

各アプリストアにて「My府中」検索

➡

② ニックネームなど入力

12月より配信予定のデジタルクーポンの利用も希望される方は（アカウント作成画面へ）をタップ



➡

③ アカウント作成の内容へ

※アカウント作成をしなくても本アプリは利用できます。



広島県の取り組み



2)①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催【令和3年度】 学校の防災教育に対する支援【令和3年度】

災害から命を守るために必要な行動の習得を通じ、災害時の「死者ゼロ」を目指すとともに、未来の防災リーダーの育成を目標として、主に小中学生及びその保護者を対象に出前講座を開催しました。

（防災出前講座実施件数）



	小学校	中学校	特別支援学校	合計
H30年度	7校	2校		9校
R元年度	9校	3校		12校
R2年度	5校	1校		6校
R3年度	12校	1校	1校	14校

気象庁の取り組み



2) 1 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■情報の伝達・発信

防災気象情報の各種改善【令和3年度実施】

防災気象情報の伝え方の改善策と推進すべき取組【概要】

- 令和2年7月豪雨の際に線状降水帯による大雨への注意喚起が不十分であったこと、また、令和2年台風第10号の際に「特別警報の可能性が小さくなった」という表現が安心情報として受け取られた可能性があること、などの指摘があった。
- 「防災気象情報の伝え方に関する検討会」では、防災気象情報の伝え方について課題を整理し、その解決に向けた今後の改善策及び中長期的に検討すべき事項についてとりまとめた。

<改善策と推進すべき取組（短期改善事項）>

（1）線状降水帯がもたらす降り続く顕著な大雨への注意喚起

- 大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続いている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報を提供。

（2）顕著な台風等が接近した際の呼びかけ方の改善

- 「特別警報級の台風」、「特別警報の可能性が小さくなりました」という表現を使用する場合は、今後の降雨や暴風等によってどのような災害が想定されるのかがより伝わるよう解説を一層強化。
- 降雨や暴風等によってどのような災害が想定されるのかがより伝わるよう、平時と緊急時で伝え方を変えるなど、状況に応じた効果的な解説を一層強化。さらに台風のように長時間のリードタイムを確保できる現象では、社会の関心が高まっているタイミングでしっかりと解説。
- 詳細な情報を住民自ら取得してもらえる解説を強化するとともに、安心情報と誤解されないよう、起こり得る災害や引き続き避難行動が必要とされる状況であることの解説を強化。

（3）防災気象情報の信頼度を維持するために

- 社会的に大きな影響があった現象について検証の実施・公表。

（4）内閣府SWGを受けた警戒レベル相当情報の見直しなど

- 大雨特別警報を警戒レベル5緊急安全確保の発令基準設定例として位置づけるとともに、危険度分布の警戒レベル4相当の紫への一本化・警戒レベル5相当の黒の新設。
- 高潮氾濫危険情報の警戒レベル5相当への変更及び「災害発生の切迫」を含めた高潮氾濫発生情報への名称の一本化。
- 避難情報の対象とならない地域への大雨警報・洪水警報等の発表を抑止する取組の推進。
- 市町村単位の警戒レベル相当情報が発表されたら、地域の状況が災害の種類ごとに詳細に分かる情報を確認すること、避難情報が発令されていなくても住民自らが避難行動をとる際の判断の参考としていただきたいことの周知を強化。

<中長期的な検討事項>

警戒レベルを軸としたシンプルでわかりやすい防災気象情報体系へ整理・統合

- 警戒レベル相当情報の体系整理及びその伝え方。
- 警戒レベル相当情報を補足する解説情報の体系整理。
- その他の警報・注意報・気象情報の体系整理。
- 大雨警報（土砂災害）の発表手法の抜本的な見直し。
- 暴風・波浪・高潮特別警報の地域別の基準値設定。

<今後に向けて>

- 関係機関との緊密な連携のもと、推進すべき取組を実施。
- 中長期的な検討事項を議論する場の設置。

■情報の伝達・発信

防災気象情報の各種改善
【令和3年度実施】

線状降水帯がもたらす降り続く顕著な大雨への注意喚起

令和3年6月17日運用開始
8月13日に
広島県で初の発表

顕著な大雨に関する広島県気象情報 第1号
令和3年8月13日09時19分 広島地方気象台発表

(見出し)
広島県南部、北部では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り
続いています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急
激に高まっています。

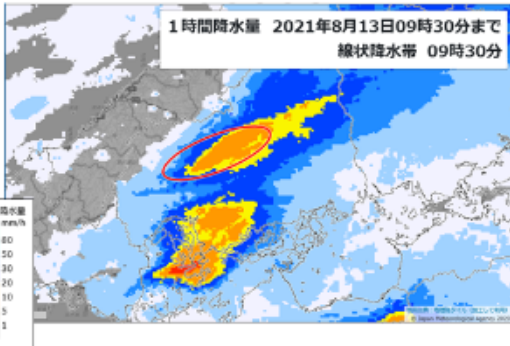
(本文)
なし

※自動送信

大雨と突風及び落雷に関する広島県気象情報 第11号
令和3年8月13日10時00分 広島地方気象台発表

広島市を中心に、線状降水帯による非常に激しい雨の降りやすい状況が続いています。これま
での大雨により地盤が緩んでいる所があり、引き続き、土砂災害に最大級の警戒が必要です。

解析雨量 (1時間降水量)



大雨災害発生の危険度が急激に高まっている
線状降水帯の雨域

広島市を中心に、これまでに経験したことのないような大雨と
なっています。何らかの災害がすでに発生している可能性が高
く、警戒レベル5に相当します。命の危険が迫っているため直
ちに身の安全を確保しなければならぬ状況ですので、最大
級の警戒をしてください。

<雨の予想>
13日12時から14日12時までに予想される24時間
降水量は、いずれも多い所で、
南部 200ミ
北部 200ミ

広島気象：「気象庁」(https://maps.gri.go.jp/development/ichiran.html)

今後発表する防災気象情報に留意してください。
次の広島県気象情報は、13日15時頃に発表する予定です。

顕著な大雨に関する情報の発表基準

1. 解析雨量 (5kmメッシュ) において前3時間積算降水量が100mm以上の分布域の面積が500km²以上
 2. 1.の形状が線状 (長軸・短軸比2.5以上)
 3. 1.の領域内の前3時間積算降水量最大値が150mm以上
 4. 1.の領域内の土砂キキル (大雨警報(土砂災害)の危険度分布) において土砂災害警戒情報の基準を実況で超過 (かつ大雨特別警報の土壌雨量指数基準値への到達割合8割以上) 又は洪水キキル (洪水警報の危険度分布) において警報基準を大きく超過した基準を実況で超過
- ※ 上記1～4すべての条件を満たした場合に発表します。
※ 情報を発表してから3時間以上経過後に発表基準を満たしている場合は再発表するほか、3時間未満であっても対象区域に変化があった場合は再発表します。